



NPO 法人

天使のほほえみ

会報

発行所 NPO法人 天使のほほえみ
理事長 鎌田久子
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-12-5
全国燃料会館 9階
年会費 個人 一口 千円以上
法人 一口五千元以上
郵便振替口座 00100-6-316987
特定非営利活動法人 天使のほほえみ

創刊号——No.1

発行日 平成18年 8月25日

関東ブロック発会 記念講演盛大に

NPO法人(特定非営利活動法人)認可!!

創刊によせて

鎌田 久子



『天使のほほえみ』は、今年

の五月下旬、NPO法人取得。生命尊重の理念・信条・運動方針を高く掲げ、大海原へ出帆しました。

「子供は国の宝、大事に生んで育てましょう」、お腹の赤ちゃん・大切に」などのスローガンのもと、四月十六日には、首都圏の講演会を六本木ヒルズの一角にて開催。その折、戦後一億人といわれる中絶児よ、安かれと、鎮魂の黙祷を捧げました。以来、わたくしの胸裏には「生ましめむかなー育まむかなー」の言葉が鳴りひびき、かたときも、消えないのです。

日本に勝った米国の、戦後処

理の最大の、罪と失策は、★国民統合の中心であられる「天皇陛下」に、「人間天皇宣言」を行なわしめたこと。★真の世界

平和を実現する、優秀な日本民族を、ふたたび米国の脅威とならぬよう、優生(母体)保護の美名のもとに殺人奨励法を課したことなどが挙げられます。

★ どうぞ皆様、日本の国力賦活のために、ご教導とご支援を、伏してお願い申し上げます。

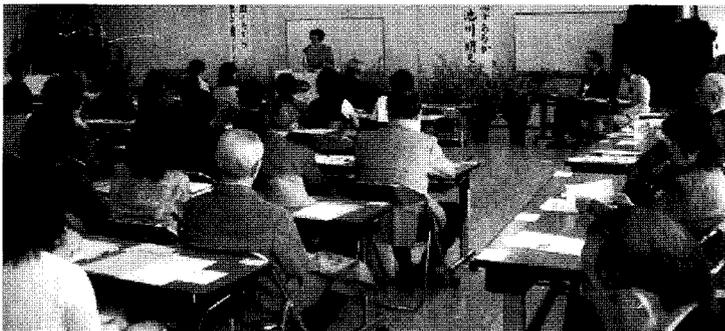
風はらみ 帆柱たかく 船
出いざ 生命(いのち)無儘の
竜宮海へ

「豊かな智慧と優しさで」

岩谷時子(作曲家)

暗い、祠のなかで
声のない、叫びをあげながら
道ってしまった、小さな生命たらよ
母の ふとろに
抱かれる、こともなく
その名を、呼ばれることもなく
笑うことも、知らず
泣くことも、知らず
見捨てられた、生命の螢火よ
私たちは、知っている
百千の、レクイエムよりも
朝の光が、見たかったことを

発会式にて朗読された詩の一部



熱気にあふれた会場(ハリウッド美容専門学校にて)

呱呱の声

☆「ふんぎゃあ、ふんぎゃあ、ふんぎゃあ」(赤ちゃんの泣き声)「カルシウム、安産に〇〇カルシウム」これは戦後、ラジオの民間放送が始ったころの、コマーシャルだった。赤ちゃんの声はコマーシャルになるほど、国民から好かれていたものだった☆「こんにちは赤ちゃん、私がママよ」も流行った。しかしだんだん、赤ちゃんはどちらかといえばママの重荷と感じられるようになった。赤ちゃん、胎児受難時代のはじまりである☆高度成長時代、オイルショック、バブルの崩壊と、物質の増減に心を奪われている間に、何も言えない、防戦できない胎児と赤ちゃんは中絶、また虐待というつらい運命にさいなまれた☆しかし、その不幸も、ついに終るときがきた。「天使のほほえみ」は、母体保護法の廃止に向けて、敢然と立ち上がったのである☆先輩格の「円プリオ基金センター」や「マザーテレサの会」とともに、生命尊重の運動を強力に推進している☆☆これは小さいが、実は大きな一歩だ。赤ちゃんの足跡は小さくても、やがては成人して、高見山ほどにもなるだろう。この運動が世界中に拡がり、大いなる福音を人類にもたらすことは間違いない。今日はまことにめでたく、うれしい出発の日である☆

「天使のほほえみ」発会式

●メッセージ
山谷えり子

(内閣府大臣政務官 参議院議員)

日本ではかつて、数え年で年齢を数えたものでした。数え年はお腹に授かった時から、赤ちゃんは尊敬ある存在だと知っていたからです。

有村治子 (文部科学大臣政務官 参議院議員)

命の重み・家庭の絆・国家の尊厳は一つの線上にある、私達にとってかけがいのない価値「天使のほほえみ」には、国政に身を置く議会人としても、2歳の娘を持つ母親としても、その理念に心から賛同し、ともに活動し、応援したいとワクワクしています。

●来賓挨拶

有村治子 (文部科学大臣政務官)



いま年間の出生数が百六万人の少子化(平成十七年)でございます。私が生まれた三十数年前は、毎年二百万人以上の赤ちゃんが生まれていました。三十数年を経て、生まれてくる赤ちゃんが半分になったという状況であるにも関わらず、毎年報告されている数だけでも、生まれてくる百万人の三分の一に値

する三十四万人の小さな命が人工的に闇に葬り去られている。表に出ている数だけです。

平時において、今ほど命の重み、家族の絆、国家の尊厳が問われ、試されている時はないのではないかと、そんな危機感を持っています。

ご紹介させていただきたい資料があります。小学三年生から中学三年生までの三千人の子どもたちを対象にしたアンケートによると、赤ちゃんを一度も抱っこしたことのない子が三十四・五パーセント、また、一歳未満の赤ちゃんを一度も見ることがないという子は、なんと四十九・八パーセントにもなります。赤ちゃんを見たことも抱っこしたことのないお子さんが、大きくなったときに急に、赤ちゃんってかわいいなあ、赤ちゃんを授かりたいなあ、授かった赤ちゃんをなんとか大事に育てていきたいと思うでしょうか？

ということを考えていきますと、親・子・孫の世代間の伝承が出来にくくなった今だからこそ、「天使のほほえみ」のような活動を通して、世代の連携や、世代間互助を、私たちは意識的に作っていかねばならないと思うのです。

十年、二十年後に、日本の命を育む活動が、今日この六本木の会場か

記念講演会

テーマ 胎児には心があるか

講師・池川 明



(池川クリニック院長・医学博士) 1954年東京生まれ。帝京大学医学部卒。2001年「胎内記憶」について調査研究を発表し、新聞テレビで話題となる。

○お母さんのお腹を選んでくる

私はこれまで、子どもたちに聞き取り調査をしてきました。すると、就学前の子どもでは半数以上が生まれる前の記憶を持っています。学校の先生の協力を得て実施した調査では、小学生では約十パーセント、中学生では三〜五パーセントの子どもが、お母さんのお腹のなかにいたときの胎内記憶を持っています。年齢とともに、だんだん覚えていく子が減っていくのですけれども。

子どもたち、もしくはおとなになっても生まれる前の記憶を持っている人たちがいる。その人たちから聞くところから、そういうことである。今日は、私がそれを聞いてこのように感じている、という話です。そう思って聞いてください。

お母さんによつては、お腹の中だけでなく、お母さんのお腹に来る前の話もします。雲の上だったり、お花畑だったり、魔法の国といたり、いろんな言い方がありますが、だいたい似たイメージです。そこにはテレビがあつて、テレビを見てお母さんを選ぶ。そのお母さんとは、階段とか、光の筋でつながっている。階段を下りていったらレンガの道がある。「ボク専用の道を歩いていくんだよ」と、いいます。共通しているのは、神様という存在があること。髭をはやしただおじいさんだったり、仏さんだったり、女の子の人だったり、男の人だったり、ひとりだったり、複数いたり、ばらばらなんですけれど、イメージ的に偉い人がいて、自分がお母さんを決めたらその人に報告に行く。そこで許可をもらつてお母さんのところへい

く、というのですね。子どもはお母さんを選んで生まれてきます。

○流産・死産の意味

患者さんやお母さんはいろんなことを教えてくれます。

流産や死産する子は、どうも運命が決まっているような感じを持っています。流産といつたら、人の一生からみたら短いですね。流産にしても、死産にしてもかわいそうですね。ところが、生まれてくる子ども側からするとそうでもないらしい。これも不思議な話です。お母さんが風邪かなにかでみえられた。そのとき連れてみえたお子さんに「この子、記憶があるんです」という。その子が生まれる前にお母さんは流産していました。その流産した子はボクだ、というのです。どうい



120余名の参加者が「いのち」の話しに聞き入る

ら始まったと言える日が来ることを心から祈念し、また、ともに歩ませて頂くことをお約束して私の発会のお祝いのごととさせていただきます。

住谷正夫

(ハリウッド美容
専門学校理事 財
団法人新教育者連
盟常任理事)



ハリウッド美容専門学校学長のメイ・ウシヤマは「女性が美しい国は平和である。女性が美しくない国はなにかごたごたしている」というのが口癖でございます。美容師を育成し、そして社会を明るくしようというのがモットーの学校であります。

新教育者連盟は、谷口雅春先生(宗教学者・生長の家の創始者)の『生命の教育』の実践普及の団体でございます。谷口雅春先生は、胎児の命を大切にすることということで、以前に、優生保護法改正の運動をされたことがございます。

その志を継いでこういう生命尊重を推進する会を立ち上げたということで、今後のご発展をお祈りし、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

●体験談

坪田陽子

(財団法人新教育者連盟理事)



私はいつも子どもに接して「なんとかしなければ」という思いを重ねながら今日に至っております。私の知り合いの産婦人科に勤めている看護婦さんが、「女子高生と女子大生が、毎日病院に来て一人かふたりは墮胎する」といいます。なかにはエイズの方もいるそうです。そのような話を聞きますと、ほんとうに切なくてなんとかしなければ、と思っていました。

けれどもみなさん、おろさなければならぬ赤ちゃんができるような状況になっていることが問題だと思うのです。

今、大人も性観念を変えなければならぬ。それから、文部科学省は倫理教育をしていかなければならない、と私はつくづく思っています。

医者も簡単に「おろせ」といいます。それから、お母さん方は、「夫がダメだから浮気しても文句はいえないでしょう」と平然という。なんと女性の貞操観念が地に落ちたことでしょうか。

もう一つは学校教育に問題があります。国会で山谷えり子先生が取り上げました。とんでもない教育が行われている。小学校で使っている性教育の教材の絵には、男女が裸で抱き合っている姿、しかも女性上位です。これではおかしくならないはずはありません。

私たちはこの状況を変えていかなければなりません。

ことかというとお父さん、お母さんを選んできたんだけれど、本当にこの親でいいかどうか心配だったので下見にきた」というのです。『下見に来たらしい親だったから、次に本当に生まれてきたの』というのですね。

こうした記憶をもっている子どもたちは、世界中のお父さんお母さんの中から、日本のお父さんお母さんを選んできたという言い方をします。いまの日本、いまの時代に生まれてきやいけない子どもたちが生まれてくる。まず、日本の文化を学びに来ているのです。だから、しっかり教えてあげてください。

子どもたちの話を聞いてみると、なにか偉大な存在がある、それは、みなさんの表現でいえば、神様であり、仏様であろうかと思えます。その偉大な存在があつて、その中で私たちは何か興味があつてこの世に生まれてきている、ということが理解できます。



「お腹の赤ちゃんはメッセージを持っています」と池川先生

○「ボク、光だったよ」

「ボク、光だったよ」といった子がいいます。「変わったことをいうな」と思っているのですが、われわれの魂、スピリットというのは光らしいのですね。

人間って光なんだと思ったら、「ボクは光だった。仲間の光もいっぱいいた」といつているこの子は、すごいことを言っている。

他の子の「雲の上でお友だちいっぱい相談していた」ということばも符号します。

光として生まれてきて、その魂のレベルを上げるのが人生なのだ、と思われまふ。魂のレベルをあげると

は、人の役に立つことらしい。そのために私たちは生まれてくるらしい。お母さんの役に立ちたいと思つてやってくる子が、お腹の中にいるときにお母さんが「この子いらない」と思つたら流産するのです。

だから、そう考えていくと、私も中絶をしていてこのようなことをいうのはなんです。お母さんがお腹の子を拒絶したら、ていのいい中絶ですよ。そういうなかで、自然流産した赤ちゃんも、産みたい産みたいと思いつながらいるんなら事情で中絶した赤ちゃんも、産みたい産みたいだろつか、と考えてしまいます。

流産も中絶も、お父さんお母さんを選んできた子にとつて大切な意味があるのです。(次号に続く)

ついて考える良い機会を頂いた。もう一人欲しくなりました。

アンケート回答(26名)から

◎池川明講師の話について

- 初めて 22名
- 内容は良かった 23名
- 参考になった 5名
- 感激の連続だった
- 子供や赤ちゃんに聞くことの大切さを教えて頂いた
- (第二子を墮胎した方)楽しく、簡潔で、押し付けがましくなかった。メモを沢山とらせていただいた。墮胎・生命の大切さ・母親の魂の成長に

◎「天使のほほえみ」への感想

- 多くの若い女性に聞かせたい
- 性教育の大切さを感じる
- ◎生命尊重について
- 岩谷時子さんの誌の朗読が心に染みた 2名
- 今の残酷な犯罪はこの問題から起きてくると思う
- 菜の花が飾られて良かった。供養になったと思う。2名他

【会名について】

会の起ち上げにあたり、「つぶらな瞳」「エンゼルのほほえみ」など出されたが「天使のほほえみ」に即決した。発起人会の雰囲気というか、そこに天降り雲集した顕幽両界の胎児たちの“思い”に導かれたような気がする。理屈抜きにポンと落ち着いた。後から考えると不思議だが、多くの思いがけない方からも「良い会名」とほめられた。肩に小さな羽根をつけた、西洋名画によく描かれている性別をこえた童子。あどけなく、穢れなく、神の申し子のような……喜びと子宝を天界から持ってくる愛らしい天の使い。子供の頃、大事に口にした森永キャラメルあのマーク。見るだけでホッペタがほころびる赤ちゃんのほほえみ……を一人でも多く、との祈りの結晶のようだ。

神奈川県庁令第1048号

東京都渋谷区本町2丁目27番15-202号
鎌田 ヒサ子

平成18年2月21日付けで申請のありました特定非営利活動法人の設立については、特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第12条第1項の規定により認証します。

平成18年5月18日

神奈川県知事 松沢 成文



- 1 特定非営利活動法人の名称
特定非営利活動法人 天使のほほえみ
- 2 代表者の氏名
鎌田 ヒサ子
- 3 主たる事務所の所在地
横浜原市宮下2丁目19番4号
- 4 定款に記載された目的
この法人は、広く人類に対して、生命尊重に関する事業を行い、胎児を含むすべての人の生命を尊重する意識の高揚並びに、人類がそれを実取に実践することに寄与することを目的とする。

「天使のほほえみ」の信条

- ① 人は無限の力を秘め大切な使命を持って生まれてきます。
 - ② 人は親を選んで、慕って宿ってきます。
 - ③ 胎児は授かった時から人間です。お腹の赤ちゃんを大切に。
 - ④ 中絶された胎児の哀しみを思いやり、心から冥福を祈りましょう。
- を信条として発表しました。

「マンガ本出版」

マンガについては何十年とご縁がなかったが、昨今の「カタイ問題をめぐるマンガ」の大流行に着目し、われわれのPRも中高生はじめ若い人、ご婦人にぜひ分かり易いマンガで、とひらめいた。未知の畑に模索して、憂国者で若いマンガ家 島奈津子さん（「チベットの悲劇」「拉致の悲劇」「百人斬り訴訟」を斬る）などの著者より、「このテーマでぜひ描いてみたい」とのお手紙を頂いた。すでに清水馨八郎千葉大名誉教授の『月刊日本』の論文を自ら編集長を務める新聞「郷守キモンド」に3・5頁で紹介された本件の理解者である。

事務所紹介

「天使の事務所」、銀座に授かる！

これから大きく羽ばたこうとしているわがNPO法人「天使のほほえみ」に、素晴らしい事務所が授かった。ある篤志家のご好意で、JR新橋駅および地下鉄銀座駅から徒歩10分のビルの一室を、なんと無料で使わせて頂けることになったのである。このご好意に報いるためにも、会員をどんどんと拡大いたしましょう！

（所在地は、中央区銀座8-12-5、全国燃料会館9階）

■ブックレット紹介■

作家三好誠氏の小冊子を「いとけなき生命に光を」と題して7月23日に出版しました。A5判80頁、表紙には手のひらの中で光を浴びて大きく育つ苗木の写真が使われています。本文の中にも可愛い天使のイラストがレイアウトされ、活字も大きく読みやすく編集されています。86の項目につき短い文章で書かれているが、具体的に説得力がある内容となっています。ぜひ多くの方に読んで頂きたい本です。頒価（消費税・送料含む）一部300円、10部以上250円、50部以上200円。会員拡大、生命尊重の趣旨説明などに積極的に活用して頂ければと思います。



みんなの広場

投書 田辺市 藤野世子

奇しきご縁により、親子として生まれ出ようとするかけがえのない生

命を救い守らんとする、愛と善意の人々と行動が、今世を照らす光となりつつあることを、非常に強く嬉しく思います。

以前読んだ体験談の一つで、ある方が夢の中で「おばあちゃん助けて！」と叫ぶ子供の声を聞いて心配になりました。すると、中絶しようとしていた矢先であったということでした。

「殺す勿れ」は、最高道徳であり、「心だに誠の道にかないなば祈らずとも神や護らん」の歌のように生きたいものだと思います。

今回天使のほほえみ入会をお願いしますと、皆さん現今の少子高齢化の日本の行く末を案じられ、幼児子供を取り巻く環境の劣悪さを、何とか打開出来ないかと考えていらつしやいます。

池川明先生のご本、「ママのおなかをえらんできたよ」「おぼえているよママのおなかにいたときのこと」を五十冊程取り寄せ、読んで頂きましたところ、非常に感動し喜ばれました。

可愛くてほのぼのとした素晴らしいご本で、お母さん方には是非読んで頂きたいと思います。

この運動は人智をはるかに超えた大いなるもの導きと、はからいによるものと確信しています。これからも、一人でも多くの方に協力して頂けますよう働きかけて参ります。